

太平ホーム北海道(札幌市)

代表取締役 西村清美氏



工務店×建築家



一級建築士事務所
ノムアーキテクト(札幌市)
野村和也氏

ゼロカーボン ヴィレッジ対談

第7回



平屋プランの外観



平屋プランの平面図



2階建プランの外観



2階建プランの平面図

地域工務店と建築家が協働グループを組んで北方型住宅ZEROの住まいづくりを行う空知管内南幌町の「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」。現在11グループの基本プランが公開され、オーナーを募集中だ。工務店と建築家がどのような考えでこのプロジェクトに参加し、どのように協働していったのか、対談形式で内幕を聞くシリーズ。第7回は太平ホーム北海道(札幌市)代表取締役の西村清美氏と一級建築士事務所ノムアーキテクト(同)の野村和也氏。日ごろから協働の機会が多い両者が今回のプロジェクトで目指したものと、これからの住宅に求められる性能について聞いた。

南幌の環境を取り込む二つの提案

普段からタッグを組むことが多い両者がスムーズに協働。「内外をつなぐ家」をコンセプトに、平屋と2階建の二つのプランを提案した。真南に面した開放的なリビングから縁側やテラスを介して緩やかに外とつながり、南幌の平坦で広々とした景色を取り込んでいく。アプローチを兼ねたカーポートには壁面太陽光発電パネルを配した。

西村 野村先生とはゼロカーボンヴィレッジで組む前からもう2、3年ぐらい一緒にやらせてもらっていて、お互いよく知っているのでもうやすかったですね。

野村 元々知り合いの社員さんがいたのがきっかけで、いまは私の方に依頼が来た物件もほとんど太平ホームさんをお願い

お互いにやりやすい

西村 野村先生とはゼロカーボンヴィレッジで組む前からもう2、3年ぐらい一緒にやらせてもらっていて、お互いよく知っているのでもうやすかったですね。

野村 元々知り合いの社員さんがいたのがきっかけで、いまは私の方に依頼が来た物件もほとんど太平ホームさんをお願い

西村 野村先生とはゼロカーボンヴィレッジで組む前からもう2、3年ぐらい一緒にやらせてもらっていて、お互いよく知っているのでもうやすかったですね。

しています。知らない人に建ててもらおうよりやりやすいですし、大工さんがたくさんいるのも助かりますね。早めに連絡して、あの大工さん空いてますか?なんてお願いすることも笑)

野村 野村先生のプラン集を作ってもらって、営業の方で提案に使ったりしています。全部そのままは使えなくても、部分的に取り入れたいですね。お客様に対して見栄えのするものを見せられるのはありがたいですね。

野村 今回は建築家協会の方から情報が入ってきて、面白そうだなと思って私からお声がけさせてもらいました。

南幌の環境から発想

野村 札幌ではなかなか扱えない規模で、難しいけれども面白い敷地。コンセプトとして、外の広がりや内部に入りたい。ただ南幌はすごく平坦な土地なので、ある程度内にもまれる場所もないとプライバシーが気になる。それを意識して、中間的な空間として縁側に覆う部分やテラス的なものを作りました。

西村 壁面太陽光についてネオマリーダースクラブの活動で勉強したことがあって、概要はわかっていました。ただ普段やっていないので、抵抗感というか、実際にやってみないと分からない部分はすごくあります。

野村 金額的に選択肢があった方がと思い、2案用意しました。平屋はちょっと贅沢な分、ゼロカーボンのポイントを少し抑え気味にして、2階建は逆に設備的なコストを少し上げて、コストのバランスを考慮しました。もっと下げることができましたが、ある程度

のスペックは見せたかった。太平ホームさんの標準仕様で付加断熱にネオマフォーム50mmのところをこの物件では100mmにして、断熱にはコストをかけました。

西村 断熱等級6や7が当たり前になってきて、もう安いだけの家ではお客様に受け入れられない。かといってコストをそのままただ上乗せしても納得が得られない。一定の性能を担保しつつ、どこまでコストを抑えられるか。これからの住宅業界はそういう競争になっていく。

野村 太平ホームさんの標準仕様なら北方型住宅ZEROにするのは全然難しくない。認証を受けていないだけで、性能の基準を満たした家はたくさんあると思いますし、その水準のものを最低限にしようというぐらいの気持ちで、たくさん増やしていければいいんじゃないかと思っています。

コストのバランス

野村 平屋で4700万円、2階建てで4200万円。あまり極端に高くても難しいけど、普通のものを立てても重みがないというか。

野村 金額的に選択肢があった方がと思い、2案用意しました。平屋はちょっと贅沢な分、ゼロカーボンのポイントを少し抑え気味にして、2階建は逆に設備的なコストを少し上げて、コストのバランスを考慮しました。もっと下げることができましたが、ある程度

野村 金額的に選択肢があった方がと思い、2案用意しました。平屋はちょっと贅沢な分、ゼロカーボンのポイントを少し抑え気味にして、2階建は逆に設備的なコストを少し上げて、コストのバランスを考慮しました。もっと下げることができましたが、ある程度